

行政報告

一 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が全国的に解除された五月二十五日、市内小中学校を再開し、私は朝、小学生に久しぶりに「おはよう」と挨拶することができました。ようやく、子どもたちの笑顔と接することができる日常が戻ってまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の根絶に向けたワクチンや治療薬はなく、ウイルスの脅威は依然として続いております。そうした中で、今後想定される感染の第二波、第三波への備えが何より重要となります。

先週、梅雨入りいたしました。災害は、新型コロナウイルスに配慮することなく襲ってきます。新型コロナウイルス感染症対策として、避難所の避難者一人当たりのスペースを拡大するため、開設する避難所数を増やすとともに、初動時の配置職員の倍増、感染防止のためのパーティションや段ボールベッド等の備品の充実など様々な運営体制の見直しを行っております。また、妊婦や基礎疾患をお持ちの方、高齢者などの要配慮者対策として、市内のホテルと協定を締結し、ホテルの客室を避難先として利用できる環境を整備したところです。災害が起こりそうな状況において、目に見えない新型コロナウイルス感染への不安をおもちの市民の皆様が躊躇することなく避難していただけるようこれらの対策を網羅したリーフレットを全戸配布するなど、しっかりと周知してまいります。

この度、本議会に提出いたします予算案は、五月補正予算に続き一体となって新型コロナウイルス感染症対策を講じるものです。今後の感染の第二波、第三波に備え、全市的な衛生対策を強力に進め、併せて、市民をあげて消費を拡大し、市内経済の再活性化を目指すこととしております。市民の皆様や関係団体の皆様としっかりと連携しながら、様々な対策に全力で取り組んでまいりますので、議員の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、多くの市民、事業者、また、台湾外交部等の皆様からマスク、ハンドソープなどのあたたかい御寄附を頂いております。頂戴いたしました支援物資につきましては、有効に活用させていただきました。去る六月五日には、ふるさと防府への熱い思いから、作曲家 鈴木淳先生、作詞家 悠木圭子先生ご夫妻より一千万円の御寄附をいただきました。新型コロナウイルスがもたらす困難を乗り越えていく防府のまちづくりには、しっかりと活用してまいります。改めて、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

二 庁舎建設について

令和六年度の新庁舎供用開始に向けて、市民ワークショップやパブリックコメントでいただいた市民の皆様の御意見も踏まえ、今年度は実施設計を行ってまいります。

また、文化財保護法に基づいた庁舎建設予定地の埋蔵文化財の試掘調査により、平安時代から鎌倉時代にかけての遺構が確認されました。同法に基づき記録保存を行うための調査を行ってまいります。

三 新たな「総合計画」について

令和三年度からの新たな「総合計画」の策定につきましては、全庁をあげて取り組んでいるところです。六月四日には、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が遅れておりました、市民や各種団体等の代表者で構成する「明るく豊かで健康やかな防府創出会議」を開催し、広く市政に対する御意見を頂戴いたしました。

新たな「総合計画」は、わかりやすく、実行性のある計画とするため、計画期間を五年間とし、新型コロナウイルスと共存する新たな生活様式等も踏まえたものとしてまいります。

また、七月には「駅周辺まちづくり協議会」を設置し、市中心部のまちづくりに関する検討を行うことといたしております。その他、競輪の活性化や広域的な防災公園、広域交通網等の検討内容も踏まえ、来年二月の最終案の取りまとめに向けて精力的に取り組んでまいります。

四 駅北公有地について

商工会館が建つ駅北公有地の防府商工会議所との賃貸借契約は、その期間を三十年間とし、平成二年の期間満了の際は、契約の更新を行っております。このため、六月九日をもって二度目の期間満了を迎えることとなっております。

建設後、六十年が経過し、老朽化が著しい当該会館をこのまま残すことは望ましくないと考えで双方が一致しましたので、当該契約を解約することに合意し、解約合意書を交わしました。

今後、本年度末までに、当該公有地を更地で返還していただくとともに、その間、賃貸料相当額を負担していただくこととなっております。

なお、この公有地を含め、駅北の公有地につきましては、来年度以降、まちの活性化につながるよう民間へ売却する方針といたしております。